

ひろの秋祭りを開催



↑多くの町民の皆さんが訪れたひろの秋祭り

ひろの秋祭りが11月5日(土)と6日(日)の2日間、広野町中央体育館などを会場に開催されました。

開催に伴いセレモニーではテープカットを行い、会場では地元産の野菜の販売や先着300名に大根が無料配布された収穫祭や、小中学生やこども園、各団体の作品展示を行った文化展、福祉のまちづくりへのチャレンジとしてパネル展示やチラシ配布を行った健康祭りなど多数の催し物が行われました。

齊藤一二様高齢者叙勲受賞



↑旭日単光章を受章した齊藤一二様(左)と遠藤町長(右)

高齢者叙勲章に係る伝達式が11月2日(水)、広野町役場全員協議会室で行われ、遠藤智町長より齊藤一二様に勲章と勲記が手渡されました。齊藤一二様は、昭和62年4月に広野町議会議員に当選以来、平成11年4月までの間、3期12年の永きにわたり地方自治の振興と発展に寄与されました。広野町議会において、産業常任委員会副委員長、総務常任委員会副委員長などを歴任し、高邁な政治信念をもって広野町の農業、福祉の向上に多大な貢献をしたことから、令和4年9月1日付、旭日単光章を受章されました。

西村経済産業大臣が地中熱実証事業を視察



↑バナナ園を視察する西村経済産業大臣

西村康稔経済産業大臣が10月30日(日)、福島復興状況や産業復興などに係る取り組みに関する現状と課題を把握するため、トロピカルフルーツミュージアムを訪れました。町振興公社が産業技術総合研究所と連携し、燃料費削減に向け取り組んでいる地中熱を利用した実証事業について、担当者より説明がありました。その後、楡葉町、富岡町、南相馬市を視察し、相馬市では若手漁業関係者と車座により意見交換を行いました。

広野町生涯学習発表会を開催



↑生涯学習発表会の様子

広野町生涯学習発表会が11月6日(日)、広野町中央体育館で開催されました。町文化協会加盟団体を中心に、今回初参加となる広野小学校1年生から6年生の児童で構成されているひろの未来スピーチ部をはじめ、9つの団体にご参加いただきました。会場では、各種団体が趣向を凝らした踊りや音楽を披露し、観客が一体となり大いに盛り上がりました。

開会式では遠藤町長が挨拶したほか北郷議会議長が祝辞を述べました。

福島大学学生オーガニックコットン綿摘み作業を実施



↑摘んだオーガニックコットンを見せる福島大学生

福島大学行政学類の1年生17名が11月3日(木)、広野町を訪れ、今年4月に開館した「ひろの未来館」と下浅見川地区にあるコットン畑を訪れました。

今回の訪問は、ゼミの一環として行われ、ファッションを通じた環境問題について考えるため、生産現場における地域の課題を学ぶため行われ、NPO法人ひろのわいわいプロジェクト理事長である根本賢仁様より、広野町の震災の状況やオーガニックコットン栽培をはじめた経緯などについて説明がありました。

JFAアカデミー福島収穫体験



↑稲刈りに汗を流すJFAアカデミー生

JFAアカデミー福島第16・17期生37名が10月24日(月)、下北迫地内の田んぼで収穫体験を行いました。親元を離れ、サッカーと勉強に励むJFAアカデミー福島生にとっての第二の故郷「広野町」となるよう社会生活をサポートする広野町サポートファミリー事業の一環として行われました。

収穫体験は、平成22年に第5期生が行って以来、12年ぶりの実施となりました。

広野町いわきFC応援デーを実施



↑盛り上がりを見せたパネルディスカッションの様子

広野町いわきFC応援デーが11月20日(日)、Jヴィレッジで行われたいわきFCの最終戦に合わせ開催されました。

イベントでは、遠藤広野町長、ウィルプラスホールディングス 成瀬社長、いわきスポーツクラブ大倉社長によるパネルディスカッションが行われ、町民300名を試合に招待しました。このイベントは、(株)ウィルプラスホールディング様より企業版ふるさと納税の寄附をいただき実施したものです。

特設大即売会・プレミアム商品券販売会を開催



↑特設大即売会の様子

生活必需品の即売会「特別大即売会」と広野町プレミアム商品券の臨時販売が11月12日(土)、13日(日)の2日間、広野町中央体育館で開催されました。

特設大即売会には、イオン広野店が家電や衣料品などを販売し、地元のニッ沼直売所による野菜の販売などが行われました。来場者はプレミアム商品券を利用し、商品を買求めていました。